

Monthly essay



生オケ寅さん

寅

さん映画をオーケストラの演奏付きで観ませんか——「わかやま寅さん会」代表の西本三平さん(77)に誘われた。場所は和歌山県民文化会館。時は4月11日。噂に聞く「シネマコンサート」のド迫力がさてどんなものか。上映されるのは、渥美清さん亡き後制作された「男はつらいよ50 お帰り寅さん」。寅さんが銀幕に蘇り、「今」を生きる家族や愛する人たちの成長を励まし見守る。

生オケが入るのは映画最終、49作のマドンナたちが走馬灯のように登場する国宝級シーン。ここで音が消え、和歌山市交響楽団の演奏に入れ替わる。本編終わってエンドロール。渥美さんが歌う主題歌「男はつらいよ」も生オケが支え続ける。寅さん会が2024年夏に開いた映画「家族」上映会で、山田洋次監督が「和歌山でやった

ら」と提案したのがきっかけだった。今回その山田監督もやって来る。同道するのは倍賞千恵子さん、吉岡秀隆さん、山田組スタッフ……。松竹大船撮影所の臨時支所みたいになるのはいつものことである。タイトルは「寅さんとオーケストラとわが街と」。西本さんが粒々辛苦の末実現にこぎ着けたのは、映画の一部を生オケがカバーする形だった。フルバージョンではない。が、会場やオーケストラ確保など制約や課題の多い地方都市でシネマコンサートを開く際のプロトタイプになったことは間違いない。高校教師だった西本さんと山田監督のストーリーは長い。講演を京都府立体育館で聞いて感動したのが1984年5月19日。橋本市民会館での講演が実現したのは86年1月11日。計3回に及ぶ講演の「恩」に報いようと映画の応援を始めた。映画

を通じて和歌山を元気にしたいとの思いを込めて。「東京家族」から「TOKYOタクシー」まで10数作品。売ったチケットは1万2000枚を超える。「万」を超える人たちが映画へ動いた。チケットを売るコツについて尋ねた。「山田監督の映画です。観てください」とお願いするだけだという。この間手作りヨットに監督を乗せて和歌浦湾クルーズに及んだこともある。二人のストーリーは深さも増してきた。車寅次郎こと渥美清さんが亡くなったのは96年8月4日。享年68歳。今年は没後30年にあたる。俳号風天。亡くなる前年、「引き際」を詠んだとされるのがこの句である。「花道に降る春雨や音もなく風天」その寅さんに「お帰りなさい」を言いに行く。なんとも楽しみである。(わ)

2026 3/1~4/10 CALENDAR

3/1	日	春の全国火災予防運動(～7日)
3	火	ひな祭り
5	木	啓蟄 大安
8	日	国際女性デー
11	水	大安
12	木	奈良東大寺二月堂お水取り
17	火	彼岸入り 大安
19	木	第98回選抜高等学校野球大会開幕
20	金	春分の日
22	日	大安
23	月	彼岸明け
28	土	大安
4/1	水	新学年 エイプリルフール
3	金	大安
5	日	清明
9	木	大安

3月 シティ信金行事予定

- シティ信金「春の1泊旅行」
天橋立・おんせんリゾートと囲炉裏で味わうかにづくし
3日 出発地：天王寺
4日 出発地：JR難波(OCAT)
5日 出発地：森ノ宮・新石切
10日 出発地：西梅田
12日 出発地：近鉄八尾・布施

- シティ信金写経会
8日 午前9時から 奈良西ノ京 薬師寺にて
- 内外情勢調査会 大阪シティ支部3月例会
11日 正午から 帝国ホテル大阪にて
講師：京都日本語学校 校長
京都外国語大学 名誉教授 ジェフ・バーグランド 氏
- 地元への奉仕活動(清掃) 全店舗で実施

シティ信金協賛等行事予定

- OSAKAシティウォーク 第3回大会
8日 八幡屋公園(芝生広場)にて
- 第18回 ユニセフ・チャリティウォーク
4月4日 花博記念公園鶴見緑地にて



春を知らせる白く気高い花

ハクモクレン

庭木や街路樹として植栽され、3月から4月にかけて枝先に白く美しい大輪の花を咲かせます。樹高が10mから15mあるので遠くからでも目を引きまします。春の青空の中で優雅に咲き誇る白い花は、桜とは違った美しさを人を魅了するでしょう。花言葉は「気高さ」「崇高」「自然への愛」など多く、特に「気高さ」はハクモクレン特有の花言葉とされています。また「崇高」は蓮の花に似た形が仏教の象

徴とされたことから、「自然への愛」は春の訪れを樹木全体で歓迎するような形が由来と言われています。大阪府城東区の花として「モクレン」が指定され、中浜公園にはハクモクレンが記念植樹されました。ほかにも万博記念公園(大阪府吹田市)や大阪城公園(大阪府中央区)、久安寺(大阪府池田市)などさまざまな場所で観賞できますので、暖かくなった際には春の訪れを探しに出かけてみてください。